

421Lab. の学生にインタビュー

421Lab. ってどんなところなの？

実際に活躍している学生に話を伺いました。

● 学生運営スタッフ、北九州の魅力を伝えるツアー企画プロジェクトに入った理由を教えてください。

私は、北九大が地域貢献に力を入れていることを知っていたので、前々から421Lab.に興味がありました。大学に入学したときには、「せっかくの4年間を無駄にしたくない」という思いから何かしたいと考え、もともと興味があった421Lab.で活動しようと思いました。学生運営スタッフに入ったのは、組織の中心で様々な人の役に立ちたいと思ったからです。

● 活動をして変わったことを教えてください

自分の視野が広がったと思います。例えば、入学当初は公務員志望でしたが、北九州の魅力を伝えるツアー企画プロジェクトや地域のボランティア活動に参加させていただいてからは、色々な人と関わって何かを作り上げることが楽しいと思うようになりました。421Lab.で発行している『Lab.Times』『FULL』、地域の方や企業の方と一緒に作成した『みなとやうみべ』『南都(みんと)』等の広報物の作成に携わっていく中で出会った方々の様々な考えに触れて、自分自身の考え方も変わったと思います。

編集後記

今回のLab.Times春号では、地域活動から得た学びをより身近に感じてもらうと、実際に421Lab.で活動を行っていた先輩や現在も活動に取り組んでいる学生に取材を行いました。取材を通して、活動に対する思いや考えを聞くことができ、私自身もよりプロジェクトの活動を知り、広めていけるようになりたいと感じました。



編集長：佐藤優奈

《プロフィール》
地域創生学群 3年

421Lab. に所属して3年目。今年度の目標は早寝早起きであるが、春の暖かさで眠気が取れず、前途多難である。食べるのが大好きで、無尽蔵の胃袋を持つ。

● 活動の中で印象に残っていることを教えてください

学生運営スタッフの活動の中で『みなとやうみべ』『南都』など、北九州市で発行されるような広報誌の作成に携わらせてもらったことです。自分のやってみたい！という意思で外に出て活動出来るのは、大学生だからこそだと気づききっかけになりました。北九州の魅力を伝えるツアー企画プロジェクトで印象に残っていることは、自分たちで作ったツアーが商品化されたにも関わらず、応募者が足りずに企画が無くなってしまったことです。ショックでしたが、同時に自分の至らなさに気づき、これをバネに次も頑張ろうという気持ちにさせてもらいました。

● 2年生になって頑張りたいことは何ですか

いろいろありますが、一番は自分から率先して動けるようになることです。2年生になって後輩も入ってくるので、自分から積極的に活動に参加して後輩の手本になればいいなと思っています。

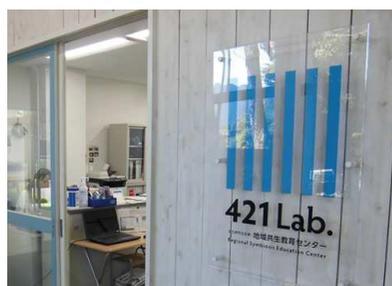


《プロフィール》

植山真理 (うえやま まり)

法学部 政策科学科 2年

去年から421Lab.の運営スタッフと北九州の魅力を伝える日帰りバスツアー企画体験PJに所属している。最近3DSを購入し、どうぶつ森にハマっている。



北九州市立大学 地域共生教育センター (421Lab.)

〒802-8577

北九州市小倉南区北方4-2-1 (北方キャンパス2号館1階)

Open / 10:00-18:00 (月~金)

[Tel] 093-964-4092 [Fax] 093-964-4088

[Mail] info421@kitakyu-u.ac.jp

[Web & Facebook & Twitter]

421Lab.

検索

《編集者：佐藤・平・植山・佐藤・清水》

Lab. Times 05号 2016年4月4日発行



地域共生教育センター【421Lab.】とは？

地域共生教育センターは、通称「421Lab.」(よんにーいちらぼ)と呼ばれていて、「地域につながる・自分をひろげる」を合言葉に、学生の地域活動をサポートする役割を担っています。現在、421Lab.には16のプロジェクトが存在しており、多様な分野で多くの学生が活動しています。421Lab.は、学生と地域をつなぎ、授業では学ぶことのできない経験や将来の夢に繋がるようなスキルアップの場を提供しています。



防犯防災プロジェクトのメンバーとして活動を行い、3年次にはリーダーを務められた吉井裕城さんに、421 Lab. での活動についてお話を伺いました。

先輩に聞く、421Lab. のすゝめ

4月から新社会人として活躍される先輩2人に421Lab. での活動を振り返っていただきました



「学生運営スタッフ」では広報班のメンバーとして活動を行い、「エコスタイルカフェ」では2年次には副リーダーを務められた緒形かおりさんに、421Lab. での活動についてお話を伺いました。

Q1. 防犯・防災プロジェクトに入った理由を教えてください

もともと消防の職に就くのが夢だったことと、421Lab. の説明会を聞いておもしろそうだったのがきっかけです。説明会では警察や消防と関わりを持ってると聞いたので、自分の将来像を描く1つになればよいと思って入りました。

Q2. 印象に残った活動を教えてください

『防犯』の分野では、小学生との安全マップ作りです。小学校によって雰囲気異なるので、同じ活動を行っても上手くいく時といかない時があります。問題を洗い出し、どの小学校でも活動を上手く進めるために考える、力をつけるきっかけをいただけ



↑小学生に説明を行う吉井さん

たという点で、この活動はとても印象に残っています。一方、『防災』の分野では地区防災会議です。地区防災会議で地域の方々

と防災についてディスカッションをさせていただき、「学生が入ってくれるおかげで会議が活発になった」「やっぱり北九大生がいなくてダメだね」という言葉をいただき、非常に嬉しかったです。



↓地区防災会議の様子

Q3. 活動をして良かったことは何ですか？

警察や市役所、地域の方々など多くの人と関わったことです。人数が少ない時期には他大学の方が手伝いに来てくれたこともあり、北九州市長ともお話しをさせていただきました。その中で『全国での学生による防犯防災の活動を知りたい』と市長にをお話しさせていただき、実際にそのお話しは「全国学生安全・安心ボランティアサミット」という形で実現していただきました。

Q4. 活動を通して得た学びを教えてください

1つ目はリスクマネジメントです。どんなことが起こるのかを事前に考えて、それをどのように防ぐか、そのためにどのような準備をすればいいのかと考える力は、失敗や反省を繰り返す中で身につけることができました。2つ目は向上心を持つことです。「前回の活動を踏まえてもっと良くするためにはどうしたら良いか」「常に新しいことを求めている」という思いはメンバー全員で共有でき、それを実行する大切さを学ぶことができました。

Q5. 得た学びは「就活」でどのように活かすことができましたか？

就活で活かされたことは、将来自分が働くうえで具体的に何をしたいのかというイメージを持てたことです。プロジェクトの活動の一つである地区防災会議への参加を通して、今まで僕がまったく考えていなかった事前防災に興味を持つことができ、地域防災の大切さに改めて気づきました。面接では、リスクマネジメントを仕事に活かすことで災害が発生した場合にどのように対応できるのか具体的に話すことが出来ました。様々な経験をしたことで具体的になんでも話せるので、話に説得力も増し、強みにもなりましたね。

Q6. 新入生へのメッセージをお願いします

「防犯防災プロジェクト」の活動は、公務員の方と関わる機会が多いので、公務員志望の方は自分の将来像を描く良い経験になると思います。公務員志望でなくても、経験したことが就活で活かせることも多くあります。421Lab. では自分の活動の振り返りを行うので、自己分析・他己分析が自然にでき、面接の準備をする必要が僕の時にはありませんでした。入ってみたいと分からないこともあると思いますが、3・4年後、421Lab. に入って良かったと思う時が来ると思います。

吉井 裕城 (よしひ・ゆうき) 法学部 法律学科卒業

2012～2014 まで「防犯・防災プロジェクト」のメンバーとして活動を行った。3年次にはプロジェクトのリーダーを務め、活動の幅や地域のつながりを広げるなど、プロジェクトの活動に積極的に取り組まれた。



防犯・防災プロジェクトとは ...

北九大生や周辺の地域の方々の「防犯・防災」意識の向上を目指すプロジェクト。警察や市役所の方、町内の方々のご協力のもと、防犯チラシ配り、市内一斉パトロール、地域安全マップ作り、地区防災会議や災害ボランティア講座への参加などの活動を行っている。

緒形 かおり (おがた・かおり) 外国語学部 国際関係学科卒業

2012～2014 まで「運営スタッフ」と「エコスタイルカフェ」のメンバーとして活動を行った。学生運営スタッフでは広報班として所属し、エコスタイルカフェでは2年次に副リーダーを務めるなど、2つのプロジェクトの活動を積極的に取り組まれた。



Q1. なぜ学生運営スタッフとエコスタイルカフェに入ったのですか？

「学生運営スタッフ」はラボの根幹になるので、何かやるのが欲しかった私にとってぴったりだと思い、入りました。「学生運営スタッフ」ともう一つ「エコスタイルカフェ」にも入っていたのですが、それは入学当時すごく親切にしてくれた方がいて、その方が学生運営スタッフとエコスタイルカフェに所属していたので入りました。二つのプロジェクトに所属することは大変でしたが、その分得ることもたくさんありました。

Q2. 印象に残った活動を教えてください

「運営スタッフ」では、広報紙『らぼだより』の作成リーダーを任せてもらったことです。421Lab. では『Lab.Times』の発行以前に『らぼだより』という広報紙を発行していました。このらぼだよりは



421Lab. で行っている活動を多くの 1 人に知ってもらえる広報紙を自分たちで作りたいという思いから始めました。リーダーとして活動を任せてもらったからこそ、責任感が身についたと感じます。エコスタイルカフェでは、2年生の時に副リーダーをさせていただいたことが印象に残っています。入った当初 3 年生が 1 人しかおらず、その人が抜けた後がすごく大変でした。私が 2 年時の時のリーダーがすごく感情的になりやすい性格で、メンバーの我も強く、エコライフステージに向けての

準備の段階で仲間割れが発生することもありました。そのときに自分が仲介に入ったりする機会も多く、リーダーをサポートするという副リーダーなりの大変さを感じました。しかし、リーダーがいたからこそプロジェクト全体に活気があったのだと思います。

エコスタイルカフェの活動を行う緒形さん



Q3. 得た学びは「就活」でどのように活かすことができましたか？

「運営スタッフ」では電話対応をしたり、外部の方が来た時にお茶出しをしたりします。これらは小さなことだと思うかもしれませんが、実際に大学生が日常生活でできる機会はあまりないですね。しかしインターンシップに参加した時に、こうしたことは社会に出てからは出来ないし恥ずかしいことなだと気づきました。私は普段から経験していたおかげで、恥ずかしい思いをせずに済みました。また、「エコスタイルカフェ」の活動ではエコライフステージというイベントの際に、掲げたテーマに沿ってフィールドワークを行う中で、学ぶ姿勢について気づくことができたり、社会人の方との関わりを通して敬語の使い方やメールの送り方を学ぶことができました。自分一人では経験できないことをたくさん経験したことで、自信を持って面接に挑むことが出来ました。

Q4. 新入生へのメッセージをお願いします

やりたいことがたくさんあると思いますが、迷ったらまずやること。そして自分が楽しいと思うことを見つけてください。421Lab. では苦楽を共にできる仲間が出来ます。社会人になる準備もできます。気になることがあったら 421Lab. に入ってください。そして充実した 4 年間にしてください。

学生運営スタッフとは ...

421Lab. の運営をサポートし、地域の方々や地域活動に参加する学生をつなぐ役割を果たしている。また、様々な方面から地域活動の魅力発信をする広報活動も行っている。積極的に地域活動に取り組むことで自分たちも成長できるプロジェクトである。

エコスタイルカフェとは ...

北九州市民、特に若者の環境に対する意識を高めるために 5 年前に発足したプロジェクト。主な活動となっているエコライフステージでのブース出展の他、毎年 12 月に東京で行われている「エココン」に出場したり、大学の講義で授業を行ったりするなど、様々な場面で「エコライフ」の提案をしている。